

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 3 部門第 3 区分
【発行日】 平成 17 年 7 月 14 日 (2005.7.14)

【公表番号】 特表 2001-512519(P2001-512519A)

【公表日】 平成 13 年 8 月 21 日 (2001.8.21)

【出願番号】 特願 平 10-536834

【国際特許分類第 7 版】

C 0 8 F 2/48

C 0 8 F 2/38

C 0 8 F 293/00

【F I】

C 0 8 F 2/48

C 0 8 F 2/38

C 0 8 F 293/00

【手続補正書】

【提出日】 平成 16 年 10 月 6 日 (2004.10.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 補正の内容のとおり

【補正方法】 変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成16年10月6日

特許庁長官 殿

1. 事件の表示

特願平10-536834号



2. 発明の名称

光重合により分子量が制御されたポリマー

3. 補正をする者

イー・アイ・デュポン・ドウ・ヌムール・アンド・カンパニー

4. 代 理 人

東京都港区赤坂2丁目6番20号

電 話 (03)3589-1201 (代表)

(7748) 弁理士 谷 義 一



5. 補正命令の日付

自 発

6. 補正対象書類名

明 細 書

7. 補正対象項目名

請求の範囲

8. 補正の内容

請求の範囲を別紙の通り補正する。

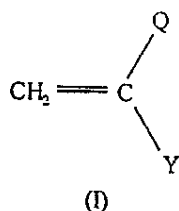
以 上



別 紙

請求の範囲

1. 一般式：



ここで、Q=H、ハロゲンまたはCH₃、およびY=ラジカル付加のために2重結合を促進するいかなる基、

を有する1種または2種以上のモノエチレン性不飽和モノマーを、

- i) 前記モノマーを光開始剤と接触させ、
- ii) 工程(i)のモノマー／光開始剤を化学線と接触させ、および
- iii) 制御された分子量のポリマーを形成する

ことによって、光重合する方法において、

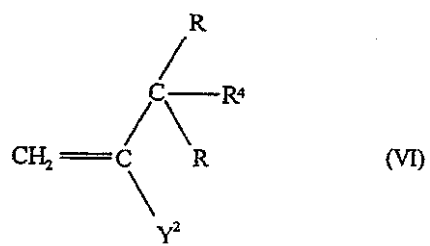
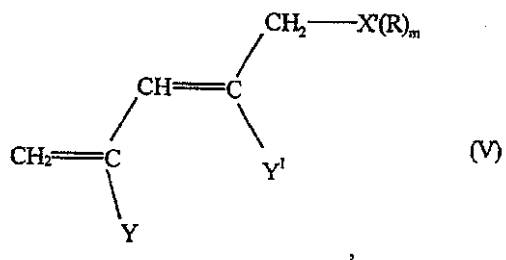
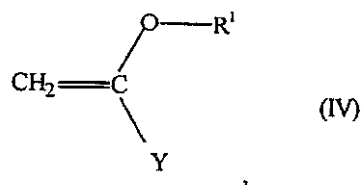
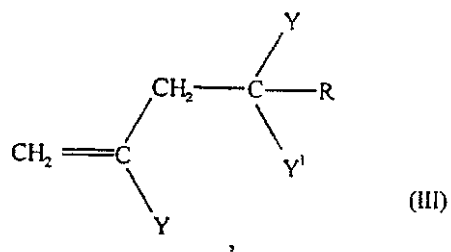
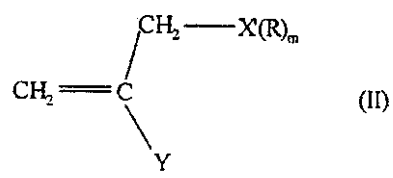
Yは、COOR、CONR₂、OCOR、CN、Cl、OCO₂R¹、OR¹、およびアリールからなる群から選択され；

Rは、水素、アルキル、アリール、アラルキル、およびアルカリールからなる群から選択され；および

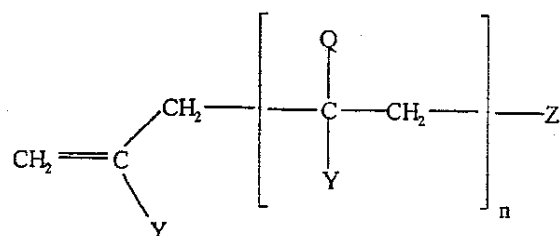
R¹は、アルキル、アリール、アラルキル、およびアルカリールからなる群から選択され；並びに、前記基のそれぞれは、随意に、1または2以上の官能基で置換され；

工程(i)において光開始剤とともに付加-破碎連鎖移動剤を使用する工程を具えることを特徴とする改良された方法。

2.



および



(VII)

からなる群から選択された1種または2種以上のものを連鎖移動剤として使用し、ここで、

Y^1 は、ラジカル付加のために2重結合を促進するいかなる基であり、およびYと同一であるか、または異なり；

X^1 は、周期表のIV、V、VIまたはVII族から選択された炭素以外の元素、または1個もしくは2個以上の酸素原子を結合させたIV、VまたはVI族から選択された元素からなる基であり；

Y^2 は、ハロゲンまたは $\text{C}(\text{R})_2\text{R}^4$ であり；

mは、基 X^1 の原子価が満たされるような、0から3の数であり、mが1より大きいとき、Rによって表される基は同一であるか、または異なり；

Zは、水素、 SR^1 、 $\text{S}(\text{O})\text{R}$ 、 $\text{S}(\text{O})_2\text{R}$ 、R、 R^2 、 R^3 であり；

R^2 は、開始剤分裂片から誘導され；

R^3 は、アルキル、シクロアルキル、アリール、アラルキル、アルカリール、オルガノシリル、アルコキシアルキル、アルコキシアリール、および $\text{P}(\text{R})_2$ からなる群から選択された、連鎖移動剤由来のラジカルであり、前記基のそれぞれは、R、 COOR 、 CONR_2 、 OCOR 、CN、ハロゲン、 OCO_2R 、ORからなる群から選択されたもので随意に置換され；

R^4 は、塩素または臭素であり；並びに

$n \geq 1$ である、

ことを特徴とする請求項1に記載の方法。

3. 連鎖移動剤 II を使用することを特徴とする請求項 2 に記載の方法。
4. 連鎖移動剤 III を使用することを特徴とする請求項 2 に記載の方法。
5. 連鎖移動剤 IV を使用することを特徴とする請求項 2 に記載の方法。
6. 連鎖移動剤 V を使用することを特徴とする請求項 2 に記載の方法。
7. 連鎖移動剤 VI を使用することを特徴とする請求項 2 に記載の方法。
8. 連鎖移動剤 VII を使用することを特徴とする請求項 2 に記載の方法。
9. 乳化重合、懸濁重合、または溶液重合に対する条件を用いることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。
10. ブロックコポリマーを製造する工程を具えることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

(以下余白)